

# 事業実績シート

## 1 事業の概要

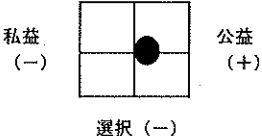

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	雲仙ブランド販売促進事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	雲仙市	産業部観光物産課	村上 輝晃	0957-38-3111
事業期間	開始年	平成22年 (9回目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[雲仙ブランド認定品生産者へ補助金として助成]			
実施期間	平成30年6月18日～平成31年3月31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	雲仙ブランド認定を受けた商品		雲仙ブランド認定品を県内外の消費者へ販売、PRすることで雲仙ブランド認定品の認知度を高め有利販売につなげる。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雲仙ブランド認定者が行う商談会やPRにかかる経費(交通費、借上料、燃料費など)に対して助成を行う。</li> <li>・雲仙ブランド認定品の残留農薬検査や食品成分検査(食味検査)の経費に対して助成を行う。</li> </ul>			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	雲仙ブランド認定品を県内外の消費者へ販売、PRすることで雲仙ブランド認定品の認知度を高め、有利販売につなげるため、補助制度を制定した。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(経緯・現状)			
	関東、関西の市場や卸業者と商談を行い、類似品より高額で取引が出来るようになった。			

## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費 (円)		1, 115, 000	1, 882, 912	1, 372, 924					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他		993, 912	753, 924					
	市町振興共同事業助成金		444, 000	309, 000					
	一般財源	1, 115, 000	445, 000	310, 000					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	雲仙ブランド売上額	前年度の売上額を参考に、設定。 当該年度の売上については、5月末集計予定。	売上額	目標	2,000	2,000	2,000	
						百万円	百万円	百万円	
					実績	1,926	1,995	1,722	
					目標達成率 (%)	96.3	99.8	86.1	
	②				目標				
					実績				
目標達成率 (%)									

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-)      公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い      妥当性高い (-)      0      (+) 		(影響内容、程度等) 平成 22 年度から継続している本事業を廃止した場合、雲仙市の特産品を市内外へPRする場が少なくなり、雲仙ブランドの認知度を高めることができなくなる。	

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		市場や卸業者と商談することにより、類似品より高額取引ができるようになったため。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	実施予定 期 日	H31	雲仙ブランドの認知度を高めるため、雲仙ブランド生産者だけでなく、雲仙ブランドを活用し、PRする団体等へ支援ができなかつ検討する。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		雲仙ブランド認定品生産者が販路拡大を図るための助成事業であるため、民間への委託は考えられない。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		市の補助率は 1/2 であり、補助残については、補助金申請者が負担する。		

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	
実施予定時期					
具体的内容					